

各機関の減災に係る取組状況等

～ 金沢河川国道事務所 ～

取組項目	想定される最大規模の降雨による浸水や家屋倒壊に対応する「立ち退き避難区域」等を検討し、ハザードマップに反映
内 容	水防連絡会においてハザードマップポータルサイトを周知
実施主体	手取川・梯川・石川海岸水防連絡会

手取川・梯川・石川海岸水防連絡会では、水防連絡会開催時に出席者に対してハザードマップポータルサイトの周知を行いました。

【実施概要】

- ・日 時：平成29年5月15日(月) 15:30～16:00
- ・参加者：手取川・梯川・石川海岸水防連絡会構成員等(石川県、関係自治体首長等、関係民間企業、金沢地方気象台、金沢河川国道事務所等) 約50名
- ・内 容：① ハザードマップポータルサイトの周知

災害時の避難や、事前の防災対策に役立つ情報を公開しています。

大雨が降ったとき

- ・どこが浸水するおそれがあるか？
- ・どこで土砂災害の危険があるのか？
- ・どの道路が通行止めになりやすいのか？



地震のとき

- ・どこが揺れやすいのか？
- ・活断層はどこにあるのか？
- ・大規模な盛土造成地はどこなのか？



重ねるハザードマップ

様々な防災に役立つ情報を、全国どこでも1つの地図上で重ねて閲覧できます。



1つの地図に重ね合わせて閲覧

わがまちハザードマップ

全国の市町村のハザードマップを閲覧することができます。



東京都千代田区洪水ハザードマップ
福島市津波ハザードマップ

 避難ルートの検討
 浸水対策の検討
 耐震対策の検討
 液状化対策の検討


会議の状況

取組項目	自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施
内 容	重要水防箇所等(河川)の合同巡視を実施
実施主体	手取川・梯川・石川海岸水防連絡会

手取川・梯川・石川海岸水防連絡会は、洪水に対しリスクが高い区間(重要水防箇所等)の点検を行いました。

【実施概要】

- ・日 時：平成29年6月7日(水) 9:00～17:00
- ・参加者：手取川・梯川・石川海岸水防連絡会構成員(石川県、関係自治体、関係民間企業、金沢地方気象台、金沢河川国道事務所)、水防団 約40名
- ・内 容：① 手取川及び梯川における重要水防箇所の点検
② 手取川及び梯川における水防倉庫の点検



手取川 右岸3.2k



梯川 左岸7.4k



大川町水防倉庫

取組項目	毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施
内 容	洪水対応演習を実施
実施主体	国土交通省金沢河川国道事務所

金沢河川国道事務所は、防災情報の的確な情報伝達等を確認し、防災体制に万全を期すことを目的に関係機関と合同で総合的な洪水対応演習を実施しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成29年5月12日(金) 9:00～17:00
- ・参加者：石川県、小松市、白山市、能美市、野々市市、川北町、北陸電力(株)、電源開発(株)、金沢地方気象台、金沢河川国道事務所
- ・内 容：① 関係機関への洪水予報、水防警報等の情報伝達の演習
② ダム・水門など河川管理施設等の操作ルールの確認、操作状況の確認及び情報伝達の演習
③ 水防活動に関する情報の集約・発信の演習



演習状況



演習状況



演習状況

取組項目	昭和9年洪水を伝承し、水防工法を学ぶ親子防災教室の実施
内 容	手取川アウトドア教室を開催
実施主体	国土交通省金沢河川国道事務所

金沢河川国道事務所は、手取川上下流の児童と保護者を対象とした「手取川アウトドア教室」を開催し、過去の災害を学び、防災情報の共有を図りました。

【実施概要】

- ・日 時：平成29年8月1日(火) 9:00～15:50
- ・参加者：手取川上下流域の児童、保護者など 約90名
- ・内 容：① 語り部による昭和9年手取川大洪水災害に関する講演
② マイ・タイムラインの作成



講演状況



マイ・タイムライン作成状況

『マイ・タイムライン』とは

住民一人ひとりのタイムラインであり、大雨等によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がつとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるものである。

時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして、また判断のサポートツールとして活用されることで、「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待される。

取組項目	国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施
内 容	水防工法講習会を開催
実施主体	手取川・梯川・石川海岸水防連絡会

手取川・梯川・石川海岸水防連絡会では、石川県内自治体、消防団、建設コンサルタント協会と合同で水防工法講習会を開催しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成29年5月20日(土) 9:30～14:30
- ・参加者：手取川・梯川・石川海岸水防連絡会(石川県、関係自治体、関係民間企業、金沢河川国道事務所)消防団、建設コンサルタント協会 約160名
- ・内 容：① 水防工法の実技



縄の結び方についての実技



月の輪工の実技



木流し工の実技

～ 石川県 ～

取組項目	洪水を河川内で安全に流すための引堤や河道掘削、浸透対策等
内 容	洪水を安全に流すためのハード対策を推進
実施主体	石川県

石川県は、洪水を河川内で安全に流すため、護岸整備や浸透対策を実施しました。

【実施内容】

- ① 前川における河川改修(護岸整備)
- ② 鍋谷川における堤防補強(浸透対策)
- ③ 八丁川における堤防補強(浸透対策)



【河川改修実施箇所】
前川 今江新橋下流 (小松市今江町)



【堤防補強実施箇所】
鍋谷川 鍋谷川橋上流(左岸:小松市古府町
右岸:能美市牛島町)



【堤防補強実施箇所】
八丁川 河原橋下流(小松市長田町)

取組項目	赤瀬ダムの適切な施設管理
内 容	赤瀬ダムの適切な施設管理
実施主体	石川県

石川県は、赤瀬ダムの適切な施設管理のため、平成29年度に以下の点検等を実施しました。

【内容】

- ① ダムの土木・機械・電気通信の設備の点検及び計測、巡視項目の実施
- ② ダム管理演習の実施(H29.5.12)
- ③ ダム関連設備の改良・更新・維持修繕工事等の実施



【①点検整備基準に基づく設備点検】
ダム貯水池周辺斜面等の巡視状況



【②ダム管理演習の実施(H29.5.12)】
放流警報装置の操作演習の状況



【③維持修繕工事の実施】
ダム貯水地内の流木を除去状況

取組項目	新技術を活用した水防資機材の検討及び配備
内 容	①水防資機材の配備状況の確認・整備 ②新技術を活用した水防資機材等の配備を検討する
実施主体	石川県、国土交通省金沢河川国道事務所、流域自治体など

①石川県は、金沢河川国道事務所や流域自治体などと合同で水防資機材の配備状況の点検を行いました。

【南加賀土木】

- ・日 時：平成29年6月1日(木)
- ・参加者：石川県、金沢河川国道事務所、小松市、能美市ほか

【石川土木】

- ・日 時：平成29年6月7日(水)
- ・参加者：石川県、金沢河川国道事務所、白山市、野々市市ほか

②新技術を活用した水防資機材の配備を今後検討していきます。



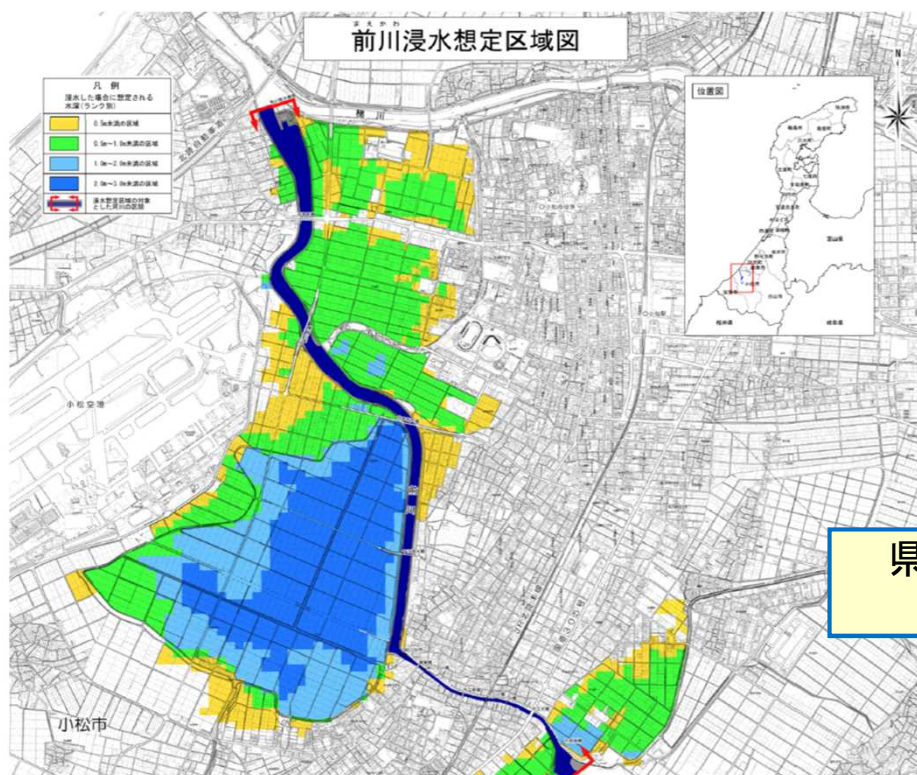
【南加賀土木 水防倉庫】
鍋谷川 国府水防倉庫(小松市古府町)



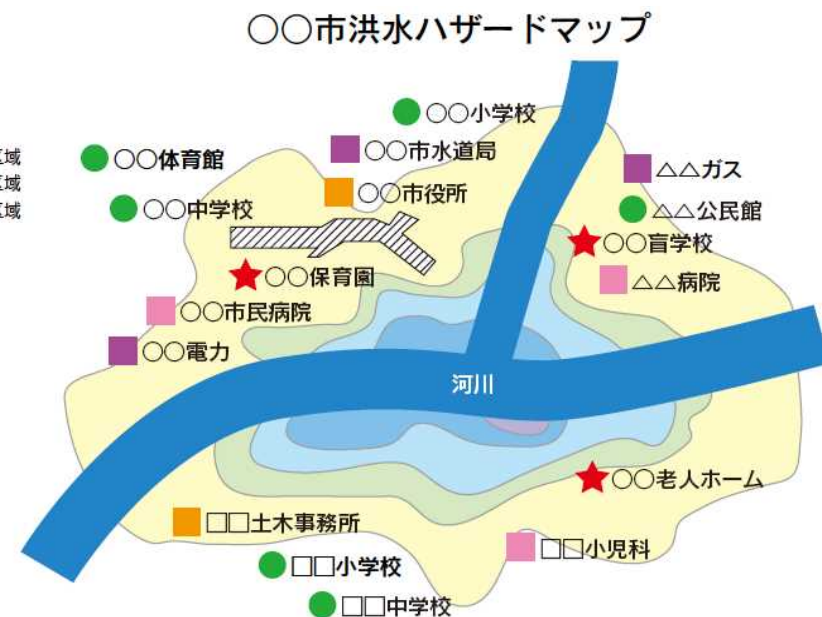
【石川土木 水防倉庫】
手取川 神田堤水防倉庫(川北町三反田)

取組項目	想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)
内 容	・前川、八丁川、鍋谷川について、想定最大規模も含めた洪水浸水想定区域図の策定・公表 ・前川、八丁川、鍋谷川について、家屋倒壊等氾濫想定区域図を作成し自治体へ提供
実施主体	石川県

【活動実績】石川県では、平成28年度から検討を開始した一級河川前川に加え、八丁川、鍋谷川においても、想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図の検討に着手しました。



県から市町に
情報提供



今後、市町(水防管理者)が洪水浸水想定区域図を基に避難場所の位置や連絡先、避難情報の伝達方法等を記載した「洪水ハザードマップ」を作成し公表を行う。

洪水浸水想定区域図のイメージ(上図は公表済みの計画規模降雨による洪水浸水想定区域図)

取組項目	効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布
内 容	水防災に関する広報活動の実施
実施主体	石川県

石川県では、平時よりマスメディアを活用した広報活動や啓発リーフレットの配布、勉強会等の実施により、水防災に関する情報の周知・教育に努めました。

【活動実績】

- ・新聞や県のテレビ広報番組を活用した、平時からの水防災情報の周知・教育
- ・水防団員を対象とした水防災情報の利活用に関する勉強会の実施
- ・イオン等の小売店やコンビニエンスストアへの啓発リーフレットの配布（置きチラシ）



啓発リーフレットの配布



「広報いしかわ」への記事登載



県テレビ広報番組による水防災情報の周知・教育

取組項目	外水・内水氾濫に対応した水防団等への迅速な水防活動の連絡体制の確保や実働訓練の実施
内 容	情報伝達、水防訓練の実施
実施主体	石川県、国土交通省金沢河川国道事務所、流域自治体など

石川県は、流域自治体や建設業協会などと合同で、洪水等の発生に対する円滑な情報収集・伝達や被害を最小限に抑えるための水防訓練を実施しました。

【南加賀土木】

- ・日 時：平成29年6月13日(火)
- ・参加者：石川県、小松市、能美市、小松能美建設業協会ほか

【石川土木】

- ・日 時：平成29年6月19日(月)
- ・参加者：石川県、白山市、白山・石川建設業協会ほか

〔内 容〕

- ・水防警報の発表や情報伝達訓練
- ・避難準備情報発令に対する訓練
- ・水防団による水防活動訓練



【南加賀土木】
関係機関との情報伝達訓練



【南加賀土木】
八丁川 水防活動訓練(月の輪工)



【石川土木】
関係機関との情報伝達訓練

取組項目	自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施
内 容	重要水防箇所等の合同巡視を実施
実施主体	石川県、国土交通省金沢河川国道事務所、流域自治体など

石川県は、金沢河川国道事務所や流域自治体などと合同で洪水に対しリスクが高い区間（重要水防箇所）等の点検を行いました。

【南加賀土木】

- ・日 時：平成29年6月1日（木）
- ・参加者：石川県、金沢河川国道事務所、小松市、能美市ほか

【石川土木】

- ・日 時：平成29年6月5日（月）
- ・参加者：石川県、金沢河川国道事務所、白山市、野々市市ほか

〔内 容〕

- ・鍋谷川及び八丁川における重要水防箇所の点検
- ・高橋川における重要水防箇所の点検



【南加賀土木 重要水防箇所】
鍋谷川（能美市佐野町）



【南加賀土木 重要水防箇所】
八丁川（小松市長田町）



【石川土木 重要水防箇所】
高橋川（野々市市新庄1丁目）

取組項目	国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施
内 容	水防技術講習会に参加
実施主体	手取川・梯川・石川海岸水防連絡会

石川県は、水防の意義及び重要性を理解し、水防技術の習得・研鑽及び水防知識・心構えの再認識を目的に水防工法講習会に参加しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成29年5月20日(土)10時～14時30分
- ・参加者：石川県内の関係機関及び消防団
- ・内 容：① 基礎的実技:縄結び、鉄線結束、土のう作り
② 工 法 実 技:月の輪工、シート張り工、立てかご工、木流し工、積み土のう工、改良積み土のう工



改良積み土のう工



シート張り工



月の輪工

～ 金沢地方気象台 ～

取組項目	①氾濫特性を踏まえたリアルタイムの浸水情報提供
内 容	危機的状況を市町へ伝える情報改善 ホットライン改善強化
実施主体	金沢地方気象台

市町への防災気象情報利活用アンケート、市町への聞き取り調査：小松市(H25梯川出水)や鬼怒川氾濫をうけての市町への防災支援強化の検討と改善実施

・【実施概要】

- ・日 時：平成29年6月15日
- ・内 容：早期の避難判断支援のため、従来のホットラインに加え危機的状況が差し迫っている段階でのホットライン実施を追加し、市町支援を強化。

具体的なめやす

- ・土砂災害警戒情報発表後、さらに1時間50ミリ以上の降水量が予想される
- ・指定河川(手取川、梯川)で危険水位到達、若しくは到達が予測されるとき

・8/8梯川出水での対応

予報官コメント

「危機的状況を伝えるカラーコード（紫）」

平成29年8月8日10時48分

【緊急！】

・加賀では、土砂災害の危険度が非常に高まっており、梯川では氾濫のおそれが高い。今日昼前まで非常に激しい雨が継続。避難情報の再点検が必要。警戒が必要な地域（区域）は土砂災害警戒判定メッシュで確認。



取組項目	①氾濫特性を踏まえたリアルタイムの浸水情報提供
内 容	防災情報の改善事項を首長訪問で説明
実施主体	金沢地方気象台

気象台と市町の連携強化、よりよい防災気象情報の利活用促進のため、気象台長による、流域市町首長訪問を実施。

・【実施概要】

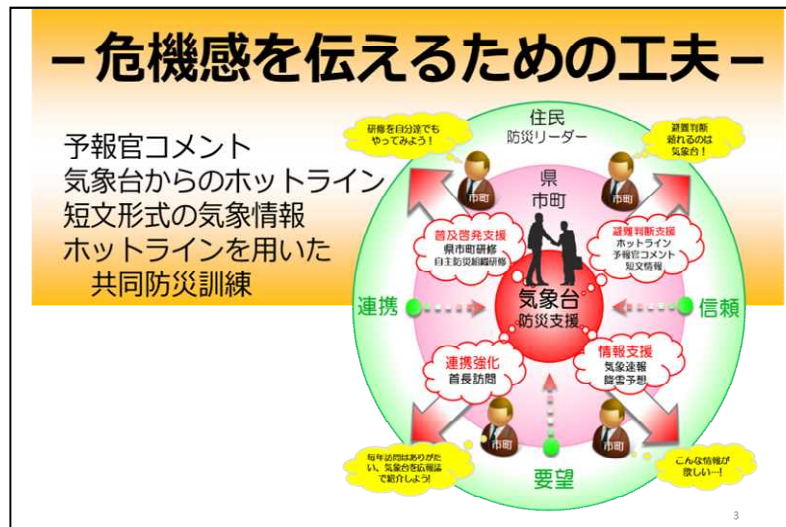
・日 時：小松市8/1、白山市8/2、川北町9/22、能美市9/26、野々市市9/28

・内 容：

流域市町の首長他防災、建設部局担当者へ今年度の改善内容説明を実施。
防災気象情報の利活用促進と連携強化を推進した。



8/2 白山市訪問



8/1 小松市訪問

取組項目	⑧「新たなステージ」に対応した防災気象情報の改善
内 容	メッシュ情報の充実化(大雨・洪水注警報を補足するメッシュ情報)
実施主体	金沢地方気象台

分かりやすい情報提供のひとつとして大雨・洪水注警報を補足するメッシュ情報の提供を開始

・【実施概要】

・日 時：平成29年7月4日より運用開始

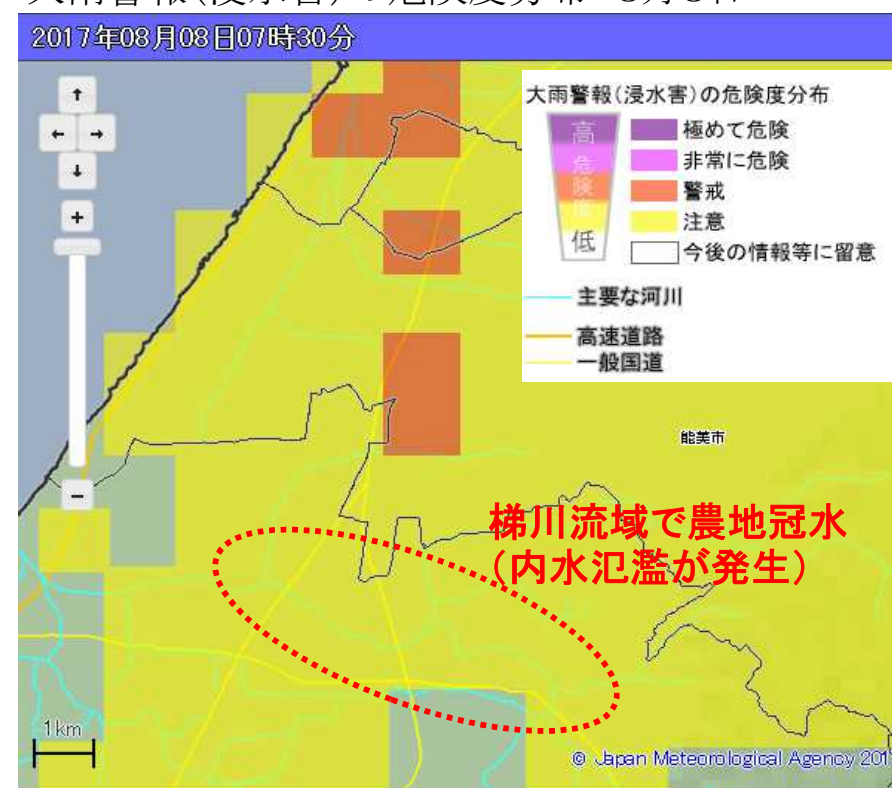
・内 容：

大雨(浸水害)・洪水警報を捕捉する情報として、危険度を色分けしたメッシュ情報を提供し、市町の防災対応支援、一般住民への災害リスクの高まりを周知。

洪水警報の危険度分布 8月8日



大雨警報(浸水害)の危険度分布 8月8日



～ 白山市 ～

取組項目	①氾濫特性を踏まえたリアルタイムの浸水情報提供
内 容	①白山市メール(防災・防犯)②防災行政無線のデジタル化 ③あさがおテレビデータ放送緊急情報④Facebookによる情報提供⑤Lアラート⑥ドローンの研究
実施主体	白山市

①、③、④、⑤実施済み
②平成29年7月完了
⑥検討中



防災行政無線戸別受信機

取組項目	①自治会や地域住民が参加した洪水に対する水害リスクの高い箇所共同点検の実施
内 容	・河川管理者と地域住民等で重要水防箇所等の共同点検を実施する。
実施主体	金沢河川国道事務所、県

・国県が実施するパトロール等に、市職員、消防団員参加。
平成29年6月7日 手取川重要水防箇所パトロールへの職員2名参加

取組項目	②昭和9年洪水を伝承し、水防工法を学ぶ親子防災教室の実施
内 容	・市内の学校から要請により出前講座等を行う。
実施主体	白山市

平成29年7月15日 出城地区夏休み親子防災講座実施
 ・金沢エコライフクラブより講師を招いて、非常持出品クイズ、応急手当ワーク、紙食器づくりなどを体験した。



防災教室
 (白山市立松南小学校)

取組項目	③住民意識の変革に資する防災講演会・講座等を実施
内 容	まちかど市民講座の開催
実施主体	白山市

防災意識の啓発のため、町会、各種団体等を対象に市民講座を開催する。

平成29年度(8月末) 5会場にて実施
のべ300名参加



まちかど市民講座の様子

取組項目	⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実
内 容	①自主防災組織の育成②防災士のフォローアップ③女性防災士の増員④家庭用防災用品への補助
実施主体	白山市

- ①自主防災組織の組織率95.0%(平成29年8月末現在)
 ・自主防災委員会の設立(5委員会)・防災訓練(図上、避難所開設)の随時実施
- ②防災士のフォローアップ ・研修会の実施
- ③女性防災士の増員 ・女性協議会への働きかけ
 ・南消防団女性分団発足
- ④家庭用防災用品への助成131件(平成29年9月8日現在)
 市民が購入した防災用品に対して、その経費の3分の1相当額(3,000円を上限)



自主防災組織を対象に
図上訓練を実施



防災士を対象に
行った研修会



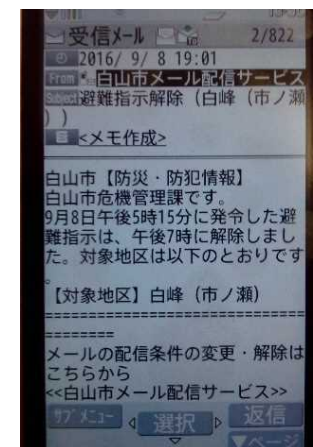
南消防団女性分団
結団式

取組項目	①外水・内水氾濫に対応した水防団等への迅速な水防活動の連絡体制の確保や実働訓練の実施
内 容	①水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。②情報伝達訓練への参加③防災行政無線デジタル化④白山市メール(防災・防犯)⑤あさがおテレビデータ放送緊急情報
実施主体	白山市

- ①、②金沢河川国道事務所が行う情報伝達訓練に参加。
 ③平成29年7月完了(松任、鶴来地域(屋外子局)・美川、白山ろく地域(屋外子局、戸別受信機配備))
 ④白山市メール(防災・防犯)
 ⑤あさがおテレビデータ放送緊急情報



防災行政無線戸別受信機



白山市メールイメージ

取組項目	②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の手取川の合同巡視の実施
内 容	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施する。
実施主体	金沢河川国道事務所、石川県

【実施概要】

- ・日 時：平成29年6月7日 手取川重要水防箇所パトロールへの参加
- ・参加者：金沢河川国道事務所、石川県、流域町村
- ・内 容：① 重要水防箇所パトロール
② 水防倉庫の資材の確認

取組項目	③毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施
内 容	・自主防災委員会等による防災訓練 ・水防管理団体が行う訓練への参加 ・毎年、出水期前に水防訓練を実施 ・毎年行っている水防訓練の内容を見直し、実働水防訓練を実施
実施主体	金沢河川国道事務所

平成29年5月20日 水防工法研修会に消防団員11名を派遣

取組項目	④水防活動の担い手となる水防団、水防協力団体の募集・指定を促進 または地域事業者による水防支援体制の構築
内 容	災害時協力事業所登録制度 ・34事業所(物資供給、建設業等) ・水防活動の担い手となる水防団員の募集を促進する。
実施主体	白山市

- ・災害時協力事業所登録制度
物資供給、建設業等34事業所（平成29年8月末現在）
- ・災害協定の締結 NTT西日本と避難所開設時の特設公衆電話の設置に係る協定を締結し、市内の12避難施設に特設公衆電話を敷設。
- ・水防活動の担い手となる水防団員(消防団員)の募集を促進する。



NTT西日本との協定
締結式



消防団辞令交付式

取組項目	⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施
内 容	・水防工法講習会への参加
実施主体	

金沢河川国道事務所主催の水防工法研修会へ職員は不参加としたが、一般社団法人平成29年6月2日の白山野々市建設業協会主催の土のう作りボランティアに、新任職員5名を派遣し、研修を兼ねて土のう作りを行った。



作業を行う新任職員

取組項目	①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施
内 容	①土のう備蓄ボランティアへの協力②土のうの配備③各種資機材の整備④各種備蓄品の整備(アレルギー対策食品への更新を含む)⑤浸水想定区域図等の公表後に広域支援拠点等の配置等を検討
実施主体	白山市、手取川水防事務組合

- ①一般社団法人 白山野々市建設業協会主催 平成29年6月2日 25名参加
 ②土のうの配備(順次配備) 今年度宮永倉庫へ配備
 ③各種資機材の整備
 ④各種備蓄品の整備(アレルギー対策食品への更新を含む)
 ⑤検討中



土のう備蓄ボランティア作業風景



土のうの配備状況
(宮永倉庫)



備蓄品の整備

～ 能美市 ～

取組項目	・洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施 ・自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクが高い箇所の合同巡視の実施
内 容	河川管理者と重要水防箇所の共同点検を実施
実施主体	手取川・梯川・石川海岸水防連絡会

河川管理者及び関係機関と重要水防箇所の共同点検を実施しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成29年6月7日(水)
- ・参加者：石川県、関係自治体、関係民間企業、金沢地方気象台、金沢河川国道事務所水防団
- ・内 容：① 手取川及び梯川における重要水防箇所の点検
② 手取川及び梯川における水防倉庫の点検



～ 小松市 ～

取組項目	新技術を活用した水防資機材の検討及び配備
内 容	出水期前に水防倉庫内の備品の状態及び数量を確認する
実施主体	小松市

小松市の管理する・丸の内水防倉庫・国府水防倉庫・中海水防倉庫において備蓄されている水防用資材の数量及び状態を点検を行いました。

【実施概要】

日 時 : 平成29年4月28日

参加者 : 小松市 2名



点検状況(中海水防倉庫)

取組項目	・洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施 ・自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクが高い箇所の合同巡視の実施
内 容	河川管理者と重要水防箇所の共同点検を実施
実施主体	手取川・梯川・石川海岸水防連絡会

河川管理者及び関係機関と重要水防箇所の共同点検を実施しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成29年6月7日(水)
- ・参加者：石川県、関係自治体、関係民間企業、金沢地方気象台、金沢河川国道事務所水防団 約40名
- ・内 容：① 手取川及び梯川における重要水防箇所の点検
② 手取川及び梯川における水防倉庫の点検



手取川 右岸3.2k



梯川 左岸7.4k



大川町水防倉庫

取組項目	外水・内水氾濫に対応した水防活動の連絡体制の確保や、実動訓練の実施
内 容	河川管理者と市・消防本部・消防団の連絡体制の確認
実施主体	①国土交通省金沢河川国道事務所 ②小松市

①関係機関と合同で総合的な洪水対応演習に参加しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成29年5月12日(金)
- ・内 容： 関係機関からの洪水予報、水防警報等の情報伝達の演習

②緊急連絡網の確認と早朝参集訓練の実施

【実施概要】

- ・日 時： 平成29年5月29日(月)
- ・内 容： 梯川の水位上昇を想定し、市水防職員の参集訓練を実施



①演習状況



②参集訓練状況

取組項目	関係機関が連携した水防実動訓練の実施
内 容	①水防工法講習会への参加 ②土嚢製作訓練の実施
実施主体	①手取川・梯川・石川海岸水防連絡会 ②小松市

①小松市職員4名、消防団3名、水防工法講習会に参加しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成29年5月20日(土) 9:30～14:30
- ・内 容：水防工法の実技

②市水防職員・新規採用職員の水防工法研修を実施しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成29年5月29日(月)
- ・内 容：水防工法の実技



①縄の結び方についての実技



①月の輪工の実技



②市職員の実技